

I 令和3年度前期 授業公開講座一覧表①

札幌校	科目名 (コード)	化学概論 I (XA-01)	担当教員	菅 正彦	募集	10名
	日程	4月14日(水)～7月21日(水) (全14回) 9:00～10:30	会場	未定	受講対象者	一般市民
	内容	化学の基礎的概念を講義します。特に無機化学, 物理化学, 分析化学, 有機化学を中心に扱います。化学の起源と発展, 原子構造と周期律, 化学結合, 溶液内の化学平衡, 酸化還元				
	備考	受講者は講義室に入室前に手洗いをを行うほか, マスクを着用してください。また, 風邪の症状がある場合は参加をご遠慮ください。 新型コロナウイルス感染拡大の状況によってはオンライン授業(スライドと音声によるオンデマンド形式など)になる可能性があり, そうなった場合には上記公開日程の後の任意の日時に, 自宅などでインターネットを使用して受講できます。 その場合には課題を提出して頂き, それをもって出欠確認を行います。 非対面授業となった場合は, 受講に必要なパソコンや通信環境等については各自で準備いただくこととなります。				
	科目名 (コード)	教育相談の理論と方法 (XA-02)	担当教員	平野 直己	募集	5名程度
	日程	4月8日(木)～7月29日(木) (全15回) 9:00～10:30	会場	未定	受講対象者	一般市民
	内容	学校での教育相談活動についての入門講義です。ゲスト講師を招いての講義を挟みながら, 教育相談の広さと深さを論じていきます。 (1) イントロダクション: 教育相談とは何か (2) 教えるアプローチ①: その原理と人間観 (3) 教えるアプローチ②: その可能性と限界 (4) 教わるアプローチ①: その原理と人間観 (5) 教わるアプローチ②: わからないことへの接近 (6) カウンセリング: 基本的な進め方 (7) チームアプローチ: 連携と協働 (8) 教室の中での教育相談: 予防的教育相談 (9) 通級指導教室と教育相談 (10) 社会的養護と学校教育との連携 (11) 保護者との連携 (12) 不登校の理解と支援① (13) 不登校の理解と支援② (14) いじめの理解と支援① (15) いじめの理解と支援②				
	備考	受講者は講義室に入室前に手洗いを行っていただくほか, マスクを着用してください。また, 風邪の症状がある場合は参加をご遠慮ください。 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により, 中止, 日程変更, 授業形態(例: 遠隔授業等)が変更になる場合があります。 受講に必要なパソコンや通信環境等については各自で準備いただくこととなります。				
	科目名 (コード)	教育相談の理論と方法B (XA-03)	担当教員	益子 洋人	募集	10名
	日程	4月13日(火)～8月3日(火) (全15回) 9:00～10:30	会場	未定	受講対象者	一般市民
内容	教育相談は生徒指導の方法論である。ここでは, 子どもの心身発達に関する理論と, それを支える実践を学ぶ。本授業は四部構成である。 第01回-第04回の総論編では, 子どもの心身発達に関する理論を概念的に解説する。 第05回-第07回の実習編では, 子どもの発達支援を行う基本的スキルである傾聴を体験的に習得する。 第08回-第12回の各論編では, いじめや不登校など, 子どもが抱えやすい困難への関わり方をより詳しく解説する。 さらに, 期間中いずれかの日程で, 現職教員, スクールソーシャルワーカー, フリースクールの先生方にゲストとしていらしていただき, チーム学校としての連携について学ぶ。					
備考	受講者は講義室に入室前に手洗いを行っていただくほか, マスクを着用してください。また, 風邪の症状がある場合は参加をご遠慮ください。 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により, 中止, 日程変更, 授業形態(例: 遠隔授業等)が変更になる場合があります。 受講に必要なパソコンや通信環境等については各自で準備いただくこととなります。					

I 令和3年度前期 授業公開講座一覧表②

旭 川 校	科目名 (コード)	漢文学概論 I (XB-01)	担当教員	大橋 賢一	募集	10名程度
	日程	4月12日(月)～7月19日(月) (全14回) 10:40～12:10	会場	未定。 遠隔(Zoom)で行う可能性もあります。	受講対象者	一般市民
	内容	<p>杜甫の詩をとりあげ、仇兆鰲の注によりながら、中国文学史について概観する。</p> <p>第1週 受講登録・プリントの配布・ガイダンス 第2週 唐詩のきまり1 五言・押韻 第3週 唐詩のきまり2 平仄 第4週 唐詩のきまり3 対句 第5週 典故表現 第6週 典故を探る1 毛詩1 第7週 典故を探る2 毛詩2 第8週 典故を探る3 楚辞1 第9週 典故を探る4 楚辞2 第10週 典故を探る5 史書1 第11週 典故を探る6 史書2 第12週 典故を探る7 古詩1 第13週 典故を探る8 古詩2 第14週 典故を探る9 魏詩 第15週 まとめ+試験</p> <p>講義の予習と復習について:講義中に白文を読む機会を設ける。あらかじめテキストとなるレジメを配布するので、白文を書き下し、解釈するなどの予習をすること。また白文を講義で読んだ後、復習をして、白文読解力が確実に定着できるように努力をすること。漢和辞典を引く能力も、予習復習をすることによって培うこと。</p>				
	備考	漢和辞典(『新字源』など)を用意してください。 遠隔(Zoom)で行う可能性もあります。				
	科目名 (コード)	社会学演習 I (XB-02)	担当教員	角 一典	募集	3名
	日程	4月12日(月)～7月26日(月) (全15回) 14:40～16:10	会場	S306教室	受講対象者	一般市民
	内容	社会問題に関する文献購読と討論を通じて理解を深めることを目的とする。				
	備考					
	科目名 (コード)	社会学概論 (XB-03)	担当教員	角 一典	募集	10名
	日程	4月12日(月)～7月26日(月) (全15回) 16:20～17:50	会場	P103教室	受講対象者	一般市民
	内容	社会の現代的諸課題の現状に関する基礎的知識を概説する。				
	備考					
	科目名 (コード)	社会学特講 (XB-04)	担当教員	角 一典	募集	10名
	日程	4月13日(火)～7月27日(火) (4月30日(金)を含む全15回) 14:40～16:10	会場	未定	受講対象者	一般市民
	内容	社会科学の古典について概説するとともに、それらを通じて現代社会の構造的理解を深める				
備考						

I 令和3年度前期 授業公開講座一覧表③

旭 川 校	科目名 (コード)	創作Ⅱ(漢字かな交じり文) (XB-05)	担当教員	西川 竜矢	募集	5名
	日程	4月12日(月)～8月2日(月) (全15回) 14:40～16:10	会場	N332	受講対象者	一般市民
	内容	漢字かな交じりの書を学習する内容です。 俳句、短歌、詩、短文を書き表現します。 技法や書表現の基礎を漢字かな交じりの書を通して触れる内容です。				
	備考	書道用具をご用意ください。その他必要な物品は初日にご連絡します。				
	科目名 (コード)	音楽教育学概説Ⅰ (XB-06)	担当教員	芳賀 均	募集	5名程度
	日程	4月14日(水)～7月28日(水) (全15回) 14:40～16:10	会場	音楽棟M101(ML)教室	受講対象者	一般市民
内容	<p>学校で音楽を学ぶということについて考えを深め、整理する、入学直後の1年生対象の講座です。</p> <p>教育とは、音楽とは、ということについて考えを深め、学生なりに整理します。学校音楽教育に関わる一つ一つの事柄についても、各学生が調べたレポートをもとに整理します。以下の事柄について学習していきます。</p> <p>「教育とは、音楽とは」「学校で音楽を学ぶのはなぜか」「学校における音楽教育」といったことについて、次の各側面から考えます。</p> <p>:音楽科教育について考える／固定ド唱法・移動ド唱法／音楽科教育の歴史／音楽づくり・創作／評価／器楽／世界の音楽(民族音楽)／音楽と他教科との関連／鑑賞と聴音／歌唱(合唱)／日本の音楽／読譜・楽典の指導／学校における音楽(学習指導要領)</p>					
備考	音楽棟は土足禁止のため、上履きを持参願います。(または備え付けのスリッパをご利用ください。)					
函 館 校	科目名 (コード)	子どもの表現発達とその理解 (XD-01)	担当教員	橋本 忠和	募集	10名程度
	日程	4月13日(火)～7月27日(火) (4月30日(金)を含む全15回) 16:20～17:50	会場	Zoomによるオンライン配 信	受講対象者	メールによる連絡が可能 な方ならびにZoomが使 える方を対象とします。
	内容	<p>教育と子どもに関する基礎的、専門的な知識及び理論を身につける科目と、演習や実践に関する科目から構成する。</p> <p>専攻科目の知識及び理論に関する科目と、演習及び実践に関する科目は、それぞれで学んだ内容を往還しながら教育に関する諸課題を的確に分析し、解決するための実践力を身につけることを目的とする。</p> <p>第1回:オリエンテーション 第2回:児童画研究の歴史について 第3回:乳児期の発達の諸相と表現の変化 第4回:幼児期の行動にみられる発達的特徴と表現の変化 第5回:児童期の行動にみられる発達的特徴と表現の変化 第6回:青年期の行動にみられる発達的特徴と表現の変化 第7回:ケログのスクリブルと子どもの表現発達 第8回:ローエンフェルドの発達研究と子どもの表現発達 第9回:リードの気質分類と子どもの表現発達 第10回:創造美育協会での教育と子どもの表現発達 第11回:児童画診断法1 第12回:児童画診断法2 第13回:表現発達と表現技法の関連 第14回:支援が必要な子どもへの表現活動による支援 第15回:まとめ(21世紀学力と今後の美術教育のあり方)</p>				
	備考	受講に関する連絡は、メールのみとなります。				